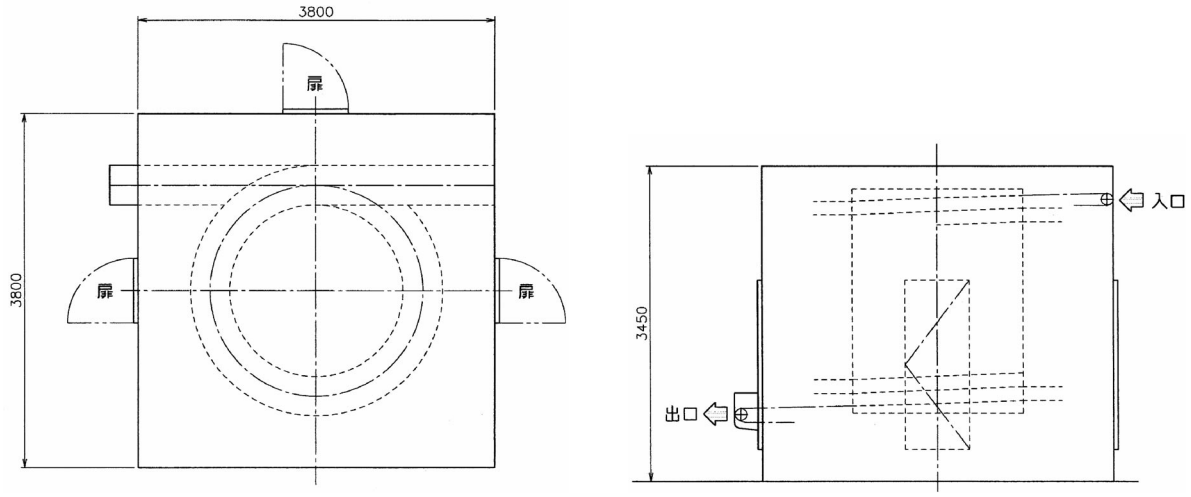

図１　加工品熱殺菌機の外観及び寸法概略

（４）設備形態

製品加工ラインの一部を構成する。

（５）稼動時間帯等、運転頻度

週６日、１日１５時間連続運転

（６）接近する可能性のある人員（職種等）・人数

操作員（始動・停止）：１名、日常点検要員：１名

他、必要に応じてサニタイズをアルバイト１名により実施する。

（７）導入当初または本件リスクアセスメント実施直前の安全対策の状況

設計段階から「機械包括安全基準適合審査表」（資料１、資料２）に基づいたリスク調査及びリスク低減を実施し、設置後に自社においてもリスクアセスメントを実施した。

すべての新規機械設備に対して同様の審査を課すことは既に述べたとおりであるが、本機においては、その開発・設計に機械メーカーと共同して自社生産設備部門が参加しており、本質的安全設計や安全防護等の保護方策の検討において深く関与した。

３．２　対象設備の残留リスク情報

残留リスク情報についてはメーカー作製取扱説明書にリスク項目とその対処方法を明記するかたちで機械納品時に提供された。その情報は、自社リスクアセスメントの実施及び「安全マニュアル」（資料４）策定の際に活用された。

３．３　対象設備のリスクアセスメント

（１）具体的な説明

前述した方法によりリスクアセスメント及び保護方策の実施によるリスク低減を行った。詳細については資料１、２及び３を参照のこと。

（２）実施に当たって問題となった点およびその解決策

自社生産設備部門、ならびに取引のある機械メーカーに、まだ十分に知識があるとは